

No.	区分	御意見の要旨	本市の考え方
1	計画全般	「鎮魂」、「憩い」、「にぎわい」、「おもてなし」の全ての要素を大切に調和させることは重要だと思う。現況や周辺環境を踏まえて、ある程度ゾーンごとに整備の基本的方向性を示す必要があると考えるが、どうか。	鎮魂、憩い、にぎわい、おもてなしの調和を図りつつ、通りの魅力や価値を高める整備及び多様な担い手が連携・協働する取組によって、平和大通りを多くの人が訪れてみたい、また訪れたいと感じられる「平和のシンボルロード」にしていくことを目指しており、通りの魅力や価値を高める具体的な整備内容やその場所については、令和4年度から沿道地域の町内会、企業、市民等に参加してもらおうワークショップ（以下「ワークショップ」といいます。）を開催し、そこでの意見を踏まえながら決定することとし、それを基に平和大通り全体のイメージパースを作成する予定です。
2		10年後の平和大通りを鳥瞰した完成予想図（イメージパース図）みたいなものを将来計画で示してもらいたい。	
3		「鎮魂・憩い・にぎわい・おもてなし」から整備イメージが提示されているが、これらは局所的なものであり、平和大通り全体をどのように変えていく計画なのか分からない。基本計画の段階でひろしま都心活性化プランの「平和への思いを共有するゾーン」として、平和大通り全体のイメージが必要だと思う。	
4		ひろしま都心活性化プランでは、平和大通りは「平和への思いを共有するゾーン」として位置付けられているが、それと市民等のニーズから集まった「鎮魂・憩い・にぎわい・おもてなし」との関係性がよく分からない。	ひろしま都心活性化プランでは、平和大通りを「平和への思いを共有するゾーン」として位置付け、平和を願う世界中の人々が出会い、交流し、平和への思いを共有するとともに、戦後復興した広島を実感できる空間にすることや平和大通りを活用して新たなにぎわいを生み出すことを目指しています。 本市としては、基本計画に基づき、平和への思いを共有する場としての慰霊碑、被爆樹木及び供木などの「鎮魂」の機能、出会い、交流、にぎわい、戦後復興した広島を実感できる場としてのカフェやベンチなどの「憩い」の機能、交流広場などの「にぎわい」の機能、トイレ、案内サイン及び照明設備などの「おもてなし」の機能を維持・向上させるための整備を行い、これらの機能を平和大通り全体で適切に配置し、調和させることにより、ひろしま都心活性化プランにおける平和大通りの目指す姿をより具体化できると考えています。
5		基本計画が未来に向けた取組であることを感じるができない。平和大通りにも多くの慰霊碑が存在しているが、平和大通りの慰霊碑を巡る観光客が減少しているのは整備の問題なのか。様々な世代の、様々な平和への思いの形を許容するような場が求められているのではないか。鎮魂は重要であるが、「平和への思いを共有するゾーン」として、「平和について共に語らう場」なども必要ではないか。もっと若い世代の声や、訪れる観光客の視点なども含め、未来につながる取り組みであってほしい。	平和への思いを共有するための場については、ワークショップはもとより、沿道地域の住民、団体、企業など多様な担い手との継続的な意見交換を行う中で、若い世代の声や観光客の視点も取り込み、多くの関係者と連携・協働しながら積極的に利活用に取り組んでいきたいと考えています。
6		平和大通りは、多くの市民にとって様々な思い出が詰まった空間でもあること、また、広島市が内外に誇れる美しい都市景観を形成していることを十分踏まえ、既存イベントによる利活用の見直しと合わせて計画の着実な実行を期待している。	いただいた御意見を念頭に置きながら、基本計画の着実な実行に努めていきたいと考えています。
7		新己斐橋～緑大橋までは将来的にどうするのか、計画に西区の平和大通りを入れるべきではないか。（5件）	基本計画の上位計画であるひろしま都心活性化プランに基づき、平和大通りのうち、まず、都市の活力とにぎわいを生み出す中心となる都心部である中区の区域について整備や利活用を進め、その魅力や価値を高め、人の流れを呼び込む環境をしっかりと築いた上で、JR西広島駅南口駅前広場再整備等の状況を踏まえ、また、将来的なアストラムライン西風新都線の整備も見据えて、取組を西区の区域にも広げていくよう考えています。

No.	区分	御意見の要旨	本市の考え方	
8	整備内容	平和大通りに通年で土産品を買うことができる施設があればいい。このお土産ハウス（仮称）に隣接してオープンカフェとレストランがあればいい。	<p>カフェ等の憩いの施設については、令和2年度に平和大通り沿道地域の町内会等を訪問して意見を聞き取るとともに、広く市民等から意見を募集したところ、設置を希望する多くの御意見をいただきました。</p> <p>本市としては、カフェなどの施設は、民間事業者の創意工夫によって、市民サービスを向上させ、平和大通りの魅力や価値を高めることが期待できることから、設置したいと考えています。</p> <p>いただいた御意見については、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>	
9		鶴見橋西詰のゾーンについては、慰霊碑、記念碑等が全く設置されていないこと、広島駅や比治山公園との回遊性向上を図るための位置関係にあることを活かし、「にぎわい」に特化したエリアとして位置付け、単独でも魅力と集客力を有するカフェ、レストランなどを誘致してはどうか。		
10		平和大通りの利活用について、パークPFIを使った収益施設は、まだ広島にはあまりないドッグカフェ（犬と一緒に入れるカフェ、カフェ内にはドッグランなどを整備）を導入し、話題づくりをしてほしい。		
11		スターバックスなどのカフェのほか、蔦屋書店や街角マルシェなども誘致してほしい。		
12		広島ならではのおもてなしメニュー、飲食サービスが体験できればいい。中島町沿道のイタリアンレストランのほかに、イタリアン以外の本格的で上質なレストランができればもう1店舗あってもいいのかと思う。		
13		サンドウィッチやパン、パティスリーといった軽食・デザート感覚の常設店があればいい。できれば店舗にオープンカフェが併設してあればいい。		
14		平和大通りに集客力のある店舗（平和カフェ、平和マルシェ、平和ギャラリーなど）を誘致してほしい。		
15		カフェや飲食店の常設について反対する。計画されているような“にぎわい作り”はこの通りの歴史を尊重したものとは思えない内容である。ここで建物疎開中に原爆に遭い亡くなった家族を持つ私たち市民にとって、この場所は単なる通りではなく慰霊や鎮魂の場所である。通りにスペースがあるから飲食店などを置いてにぎわいを作ろうという安易なやり方で、この通りの歴史が違う方向に向かっていくように感じられて大変不安である。		<p>・カフェ等の憩いの施設については、令和2年度に平和大通り沿道地域の町内会等を訪問して意見を聞き取るとともに、広く市民等から意見を募集したところ、設置を希望する多くの御意見をいただきました。</p> <p>本市としては、カフェなどの憩いの施設は、民間事業者の創意工夫により、市民サービスを向上させ、平和大通りの魅力や価値を高めることが期待できるものであると考えています。また、平和大通りにおける「憩い」の機能の向上を図るとともに、新たなにぎわいを生み出す交流広場等の整備と合わせて、将来にわたって都心全体の回遊を促し、重要な拠点となることが期待されることから必要であると考えています。</p> <p>こうした施設に係る具体的な整備内容やその配置の検討に当たっては、市民等が平和大通りに求める「鎮魂」、「憩い」、「にぎわい」、「おもてなし」の4つの要素を大切にして調和させるとともに、慰霊碑や供木等の位置、また、商業施設、オフィス、住居等の集積状況など周辺環境に配慮しつつ、ワークショップでの意見を踏まえながら取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>・防災についての御意見は、カフェなどの施設の設置により火災を懸念することだと思いますが、カフェ等の設置に伴う防災対策については、関係法令を遵守して適切に対応するよう取り組みます。</p>
16		平和大通りの緑地帯は観光地としての景観の維持のためにも現状のままが良い。カフェなどを作って人流をとの意見もあったが、一時的な人流の増加のために、永続的な市内の景観を損ね、魅力を低下させる方が損失が大いと思うため、緑地帯にカフェを整備することは反対である。		
17		平和大通りをどれだけ整備しても平和大通りまで足を延ばす客が増えるとは思えない。トイレやベンチなどの整備は市が行えばよく、民間事業者に店などと合わせて整備させる必要はないと思う。慰霊碑の周りは整備するが、あまり開発しない「慰霊」の思いを込めた整備をしてほしい。		
18		平和大通りは現状の緑の公園のままとし、カフェ等の飲食店の設置は禁止すべきである。（8件）		
19		平和大通りは、現状の緑地公園としての平和大通りを要望し、防災の為、カフェ等の飲食は禁止すべきである。（3件）		
20		緑を無くすことは信じられない。飲食店はコロナの影響を受けているにもかかわらず、さらに増やす意味が分からない。反対である。		
21		平和の象徴のような所を利用した商売活動はあまり好ましくないため、反対である。		

No.	区分	御意見の要旨	本市の考え方
22	整備内容	P a r k - P F I制度を活用して飲食店や交流広場を設けることはせず、現状のままでいいのではないか。	基本計画の策定に先立って、平和大通り沿道地域の町内会等を訪問し、意見を聞き取るとともに、広く市民等からの意見を募集した結果、「憩い」の機能であるカフェの設置や「にぎわい」の機能である交流広場の整備を求める多くの御意見をいただきました。飲食店等の収益施設と一般の公園利用者が利用できる広場等を一体的にデザイン・整備するP a r k - P F I制度を活用すれば、民間事業者の創意工夫によって、市民サービスを向上させ、平和大通りの魅力や価値を高めるとともに、本市の財政負担を軽減することができると考えています。したがって、P a r k - P F I制度を活用してカフェなどの飲食店や交流広場などの公園施設の整備を行うこととしています。
23		平和大通りが営利目的の場所となる上に、平和大通り沿道の飲食店にとっては、経営に関わる問題であるため反対である。(3件)	基本計画の策定に先立って、平和大通り沿道地域の町内会等を訪問して意見を聞き取るとともに、広く市民等に対して意見を募集したところ、カフェの設置や交流広場の整備を希望する意見が多くありました。本市としては、カフェ等の施設の設置は、民間事業者の創意工夫によって、市民サービスを向上させ、平和大通りの魅力や価値を高めることが期待できると考えています。
24		地元で長く飲食店をされている方にも影響が大きいと思われるため、そういった方々が困らないためにも計画には反対である。	また、交流広場の整備と合わせて、都心全体の回遊を促す重要な拠点となることが期待できることから必要であると考えており、人の流れが周辺地域にも波及することにより、地域の活性化につながるよう取り組んでいきたいと考えています。
25		近くに飲食店もある。平和復興のための通りではなく、営利目的のスペースになってしまうため反対である。	さらに、本事業の推進に当たっては、沿道地域の町内会、企業、市民等に参加してもらってワークショップを開催するなど、沿道地域の方々等の御意見をお聞きし、本事業についての御理解をいただきながら丁寧に進めていきたいと考えています。
26		この基本計画案には反対である。この取組について、直接の説明もなく計画が進んでいる。これからも商売を安心して続けられような取組を考えてほしい。	
27		慰霊碑、記念碑がどのようなものか分かりにくい。ため、インターネットにアクセスすれば、これらの慰霊碑、記念碑の案内が日本語や主要な外国語等で聞くことができ、地図上で映像や写真が見ることができるというシステムがあればいいと思う。	平和大通りの魅力や価値を高めるための「鎮魂」、「憩い」、「にぎわい」、「おもてなし」の要素に関わる具体的な整備内容やその場所については、ワークショップを開催し、そこでの意見を踏まえながら決定したいと考えています。
28		慰霊碑・記念碑に対するメッセージを記録できる場所があればいい。紙ベースではなくiPadなどを活用したものがデータの管理についてもいいのではないか。	いただいた御意見については、今後の取組の参考にさせていただきます。
29		平和についてフィールドワークできる場所として整備してほしい。	
30		イチョウ、カエデ、モミジなど紅葉する落葉樹を増やしてほしい。	
31		「被爆者の森」に、日米の友好の懸け橋となるようにワシントンのポトマック河畔の桜のお返しにアメリカから日本に送られたハナミズキを植えてほしい。	
32		カフェなどの飲食店だけでなく、被爆者の森の近くに平和記念都市建設法や被爆者援護法を記念する施設(空間)を一緒に作ったらどうか。平和大通りは、戦後復興の努力の象徴であるため、単なるカフェでなく、「平和記念都市建設法記念館」などと地図に銘打てば、観光客の新たな立ち寄りの目的地にもなると思う。	
33		広島「今」を感じるためにも、昭和の「戦後復興の歩み」をそのまま埋没させることなく、先人の戦後復興の努力や力をもっと多くの人(平成や令和生まれの人)に知ってもらって施設が必要だと思う。	
34		白神社前の岩礁の説明板など戦前の広島の歴史を物語る説明板を平和大通り全体に設置してほしい。	
35		平和や原爆について学び、交流する場として、広場を作してほしい。	

No.	区分	御意見の要旨	本市の考え方	
36	整備内容	中工場から平和記念資料館、原爆ドームに至る平和の縦軸線と平和大通りの横軸線が交差する場所に象徴的なモニュメントを設置してはどうか。		
37		ソーラーパネルとUSBポートを付けた案内板を設置し、充電スポットを整備してほしい。		
38		防犯カメラを設置してほしい。		
39		住んでいる人や訪れる人にとって安心・安全・快適な場所になるようにしてほしい。		
40		小さくてもいいので、平和大通りに平和神社を作してほしい。		神社については、憲法第20条及び第89条に規定する政教分離の原則に反することから、整備することはできません。
41		平和大通りは平和記念都市建設法に定められた、広島都心を東西に貫き、国際平和文化都市広島を形成する重要な都市空間であり、広島が世界に誇れるまさに平和の通りであり、これを後世に残す必要がある。平和大通りに寄贈された樹木、被爆樹木、慰霊碑、記念碑、石燈籠がある緑地帯のレイアウトを、集客施設の建設のために変更しないでほしい。		平和大通りに点在する慰霊碑、石燈籠、記念碑、被爆樹木及び供木は、平和への思いを共有するための貴重な財産であることから、周辺の整地や舗装、せん定などの景観整備を行うこととしており、適切に維持管理していきたいと考えています。カフェに関する御意見については、今後の取組の参考にさせていただきます。
42		今植えている木は絶対に切らないでほしい。また、多くの慰霊碑があるが、これも絶対に移動させないでほしい。そのような条件であれば、スターバックスなどのカフェの設置には賛成である。広島オリジナルの平和について考える平和カフェを作してほしい。		
43		木の伐採や移植、慰霊碑等の移設はしないでほしい。		
44		お店などを作るにしても、木の伐採はしないでほしい。移植もリスクが伴う。木を何よりも大切にしてほしい。		
45		現在の鎮魂の機能を維持し、遊歩道の再整備、照明施設の増設、分かりにくい案内板の改修を行い、ピースツーリズムの普及を図ってほしい。「平和の森」として整備してほしい。		
46	バリアフリーやノーマライゼーションに配慮した車椅子の方と一緒に憩うことができるコーナーがあるといい。	園路や広場などの施設については、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮し、誰もが通行しやすく居心地の良い空間となるよう再整備を行いたいと考えています。		
47	芝の部分でくつろげるようになればいい。ただし、道路に面しているので安全面に配慮した設備等が必要である。	芝生広場や休憩施設、子どもの遊び場などを整備し、思い思いの時間を過ごしていただきたいと考えています。また、それらの整備に当たっては、安全面に配慮した設備を整備する必要があると考えています。		
48	どこでも座れるようにするため、ベンチ花壇や階段ベンチなどを至る所に設置してほしい。	ベンチの設置や移設については、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮し、居心地の良い空間となるよう再整備を行いたいと考えています。		
49	ウォーキングやランニング、散歩をする際に休憩できるベンチの整備をお願いしたい。できれば木陰・日陰にあればよい。			
50	市民や観光客が休憩できるベンチをもう少し増やしてほしい。			
51	平和大通りは、今のままではいけないと思う。昼は緑あふれる憩いの空間となっているが、夜が圧倒的に明るさ（照明）が足りないと思う。	照明設備を充実させたいと考えています。また、ライトアップのデザインについては、今後の取組の参考にさせていただきます。		
52	平和大通りは夜暗いので、ライトアップなどして、もっと明るくしてほしい。（4件）			
53	まちにひかりがほしい。			
54	都会のように平和大通り全体と橋をライトアップしてほしい。また、ライトアップをデザインしてほしい。			
55	平和大通りにはトイレがないため、びんご府中おもてなしトイレのようなおもてなしトイレ（トリックアートトイレ、シースルートトイレなど）を複数か所設置してはどうか。		おもてなしの機能を向上させるためのトイレを設置したいと考えています。具体的な配置等はワークショップを開催し、そこでの意見を踏まえながら決定したいと考えています。	

No.	区分	御意見の要旨	本市の考え方
56	整備内容	平和大通りにはトイレが一つもないので、トイレを複数か所設置してもらいたい。(3件)	
57		説明板のリニューアル、トイレの設置、街灯の増設、段差を少なくする等の整備を行ってほしい。	説明板やトイレの設置、照明設備の充実、隣接する歩道との段差の解消などに取り組んでいきたいと考えています。
58	利活用の取組	鎮魂のための音楽、キャンドル灯火等のイベントがあればいい。	平和大通りの魅力や価値を高める具体的な利活用の取組については、多様な担い手、民間事業者、市がそれぞれの役割を果たしながら積極的に取り組む必要があることから、ワークショップを開催しながら、市民等の利活用に関する機運を醸成し、具体的な取組につなげていきたいと考えています。 いただいた御意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。
59		おりづるタワーと連動した鎮魂のイベントがあってもいい。それぞれの集客・回遊性を高めることにつながる。	
60		交流広場を作り、平和大通りの概要を紹介する写真等のパネルを設置し、被爆体験を聴くことができるようにしてほしい。	
61		観光客や市民がカフェでくつろぎながら音楽を耳にできる、また、いつでもどこかで生音楽が流れている街になれば良いと思う。仙台ではジャズを行っているようなので、将来的には、広島と仙台でジャズ合戦を行ってはどうか。	
62		レストランか専用のオープンスペースでは、ピアノ演奏、バイオリン、フルートなどの三重奏の演奏などアマチュアからプロまで個人やグループでの生演奏を聞くことができればいい。	
63		平和大通り周辺にカフェを含む飲食店がたくさんあるため、平和大通りには常設店舗は設置せず、その代わりに交流広場では飲食ができるようにしてほしい。	
64		大道芸フェス、町の音楽祭、フリーマーケット、牡蠣フェスなど季節季節のイベントで人を集め、お店はキッチンカーを集めるなど工夫してほしい。	
65		平和大通りはハード事業ではなくドリミネーションなどのイベント(ソフト事業)でにぎわいを出してほしい。ハード事業はライトアップ、おしゃれなカフェなどの設置など必要最低限にして、四季折々のイベントを企画して、人々が集まりにぎわうオシャレな通りにしてほしい。	
66		平和大通りでは、フラワーフェスティバル、ドリミネーション、男子駅伝など様々なイベントが行われているが、それ以外にも年中イベントを企画して広島のイベントのメッカにしてほしい。 将来的に平和大通りはフランスのシャンゼリゼ通りのような通りになれば素晴らしいと思う。	
67		平和大通りは夜のにぎわいが足りないと思う。じぞう通りなど近くの商店街とタイアップしたイベントで夜のにぎわいを出してほしい。	
68		平和大通りは、都心部としての土地の有効活用がなされていない。札幌の大通り公園も広島と同様都心部にあるが、冬の雪まつりや夏のビアガーデンなど人が集まるにぎわいづくりにうまく活用している。札幌の大通り公園を参考に平和大通りの利活用の具体化を考えてはどうか。	
69		ボランティアガイドを常駐させ、平和大通りのフィールドワークを企画し、旅行者や修学旅行生に提供してほしい。	
70		国内外の観光客の方々には、旅行の周遊コースとして、平和大通りおもてなし企画があるレストランやパティスリーなど、おもてなしメニューの選定や工夫がなされた食事サービスを組み込んでパッケージにしてほしい。	
71		平和大通りは幅員が100メートルもある割には、土地の有効活用がなされていない。都心部の死に土地となっている。	
72		井戸端会議の場となってほしい。そのような場を市民が行政や民間と一緒に提供してほしい。	

No.	区分	御意見の要旨	本市の考え方
73	利活用の取組	平和大通りは秋のイベントがない。年間を通じた平和大通りのにぎわいづくりのために、白神社の秋祭りで地元住民や地元商店街などと組んだイベントなどを行い、活性化を図ってはどうか。	神社の行事と関連したイベントは、政教分離の原則から慎重に考える必要がありますが、地域の行事として住民や周辺商店街と連携したイベントを実施することについては、今後の取組の参考にさせていただきます。
74		これまで平和大通りで定期的に関催されてきた「朝市」、「樹木の観察会」、「慰霊碑巡り」などの募集や音楽イベントのための告知等について、専用のサイト（LINEやSNS）を積極的に活用して集客してほしい。	平和大通りで行われるイベント等については、多様な担い手と連携して、その情報を広く提供することに取り組むたいと考えています。いただいた御意見については、今後の取組の参考にさせていただきます。
75		平和大通りの将来計画は、単独で考えるのではなく、じぞう通りや並木通りなど、平和大通りに面している商店街と一緒に考えてもらいたい。	平和大通りの魅力や価値を高める整備やその配置、利活用の取組については、商店街にも参加を呼びかけてワークショップを開催し、そこでの意見を踏まえながら決定したいと考えています。
76	回遊性	歩行者の回遊性を高めていくためには、幹線道路としての現況を見直すことや交通政策との整合性をいかに図っていくかについて言及が必要ではないか。中央部車道に沿った歩道を廃止し、両サイドの歩道を拡幅整備する、道路内にある路上駐車場を廃止する、歩行者空間と自転車空間を分離するなどの道路構造の改善も合わせて実施することにより、歩行者と自動車・自転車との歩車共存を図っていく必要があると思う。	基本計画は、車道・歩道を除いた平和大通りの利活用のためのものであり、歩道や路上駐車場など道路構造の変更に関する内容については、基本計画の範ちゅうを超えるものであることから、記載することは考えていません。歩行者と自動車や自転車との歩車共存に関する御意見については、本市の交通施策を推進する上での参考にさせていただきます。
77		平和大通りの緑地の活用と路面電車の平和大通り線の構想との整合性は検討されているのか。回遊性や移動支援のツールとして、路面電車（平和大通り線）を活用することを念頭に置いた上で、緑地の活用を検討してほしい。	基本計画においては、回遊性の促進を図ることとしており、路面電車を始めとする公共交通は移動手段の一つであることから、観光客等への交通アクセス情報の周知に努めたいと考えています。なお、路面電車の平和大通り線については、今後、検討される際に調整を図っていきたいと考えています。
78		将来的に広電の路面電車を広島駅から駅前通り、駅前通りから平和大通りを経て己斐駅まで通してはどうか。	路面電車の新規路線の整備に係る検討については、広島電鉄株式会社等の関係者ととも策定している広島都市圏LRT整備計画に基づき、低床車両の導入、電停施設等の改良などと併せて取り組んでいくこととしています。いただいた御意見については、今後の取組を進めていく上での参考にさせていただきます。
79		平和の都心回廊の「北の街道」と「南の街道」は、既存の「文化の道」と「平和の道」と同一ルートなのか。	「北の街道」及び「南の街道」については、「文化の道」及び「平和の道」と概ね同一のルートになりますが、「北の街道」及び「南の街道」は、「文化の道」等のように経路を厳密に設定しているものではなく、広島駅から平和記念公園までに所在する都心部の地域資源を巡るおおまかな道筋を示すものです。
80		平和大通りは歩く人が少ない。	平和大通りが、市民はもとより、平和記念公園を訪れる観光客等の人の流れを呼び込み、徒歩や自転車等で平和大通り内を巡り、また、そこから他の地域資源を巡ってもらえるような拠点を目指しています。このため、魅力や価値を高める整備や利活用に取り組むとともに、徒歩や自転車等による回遊が快適なものとなる環境づくりとして、案内サインの多言語化やより分かりやすいデザインへの更新など、案内表示の充実を図りたいと考えています。
81		ヒルトンホテルができると、人の流れが変わる可能性があるため、この人の流れを平和大通りの活性化にうまく取り込んでほしい。	なお、新たにできるホテルからの人の流れを呼び込むことについては、当該ホテルとも連携しながら取り組んでいきたいと考えています。
82		平和大通りの三川町交差点と白神社前交差点の間のエリアは、南北道路が緑地帯を分断・細分化しており、歩行回遊やにぎわいの連たん性を確保しにくいのではないかとと思うが、どのように考えているのか。	市民や観光客等の回遊が促進されるよう、都心部における案内サインのデザインや表示の統一を図るとともに、ピースツーリズムの取組の中で、平和大通りに所在する被爆樹木や推奨周遊ルート等の情報発信に取り組むたいと考えています。なお、市民が平和大通りに求める「鎮魂」、「憩い」、「にぎわい」、「おもてなし」の4つの要素を平和大通り全体で適切に配置する中で、にぎわいの創出にも取り組んでいきたいと考えています。

No.	区分	御意見の要旨	本市の考え方
83	回遊性	原爆ドームから平和大通りまでの慰霊碑を巡り、被服支廠から御幸橋、旧広島大学本部跡地、日赤病院、市役所を経て、また平和大通りに帰るなど、ピースツアーとして自転車で巡ることができるよう自転車ロードを整備してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や観光客等の徒歩や自転車等による回遊が快適なものとなるよう、都心部における案内サインのデザインや表示の統一を図りたいと考えています。また、ピースツーリズムの取組の中で、平和大通りに所在する被爆樹木や推奨周遊ルート等の情報を発信するとともに、多様な担い手と連携して交流広場等で行われる様々なイベントの情報を広く提供することなどに取り組みたいと考えています。 ・自転車ロードの整備については、本市のまちづくりを推進する上での参考にさせていただきます。
84	その他	平和大通りの中央部の車道を緑地帯にして両サイドに車道を移設するなど、道路構造を基本的に変える構想があったと思うが、現在、その構想はどうなっているのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・本市では、平成14年10月に「平和大通り新世紀リニューアル事業」の基本方針を策定していますので、御意見の構想が、本基本方針のことを示すものとして回答いたします。 この基本方針は、平和大橋や西平和大橋などの架替え、車道の6車線化、沿道と一体となった緑地空間の再整備などの方向性を盛り込んだものでした。このうち、平和大橋、西平和大橋などの架け替えは、検討の結果、実施は困難となったことから、現在、長寿命化や耐震補強によりできるだけ長期間活用することとしています。また、これに伴い、車道の6車線化についても具体化していません。 ・なお、こうした中においても、クリスタルプラザ前における歩きやすく憩える緑地空間の再整備や、平和記念公園へのアプローチとしての役割を担う平和大橋歩道橋の新設による安全で快適な歩行環境の整備などに取り組んでいるところです。
85		計画には反対である。現在の平和大通りには公園があったりゆったりと歩ける道があったりと子供もお年寄りも過ごしやすいと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画の策定に先立って、平和大通り沿道地域の町内会等を訪問して意見を聞き取るとともに、広く市民等に対して意見を募集したところ、いただいた意見には整備や利活用の取組の様々なアイデアが含まれており、「鎮魂」、「憩い」、「にぎわい」、「おもてなし」の4つの要素に大別することができました。本市としては、これらは市民等が平和大通りに求める要素であると受け止め、この4つの要素を大切にして調和させることにより、都心の回遊を促す「平和のシンボルロード」となることを目指しています。 その実現に当たっては、慰霊碑、被爆樹木及び供木等を平和への思いを共有するための貴重な財産として大切にし、それらの周辺の整地や舗装、せん定などの景観整備を行います。また、誰もが通行しやすく居心地の良い空間となるよう、園路や広場の整備、段差の解消など、平和大通りの魅力や価値を高める整備や利活用に取り組んでいきたいと考えています。 さらに、ピースツーリズムの取組の中で平和大通りに所在する被爆樹木の情報を発信したいと考えています。 ・話し合いの場の設定については、沿道地域の町内会、企業、市民等に参加してもらうワークショップを開催し、具体的な整備内容やその場所、利活用の取組について意見交換しながら取り組んでいきたいと考えています。
86		平和大通りに面している憩いの場所、緑豊かな散歩道、イルミネーションなど、平和大通りは今の状態のまま満足しており、そのような場所を残してほしいため、反対である。	
87		広島象徴である平和大通りは、そのままにしておいてほしい。	
88		広島は原子爆弾が投下され、その影響に伴い木や草などの自然が無くなった。次に芽生えるまで数十年、数百年という年月がかかる。地獄のような焼きただれ何もなかった広島を中心に草や木、花が芽生えた。その復興の証である自然を無くしてまで基本計画を進めるのは違うと思う。断固反対である。	
89		ひろしま男子駅伝やひろしまドリミネーションなどのイベント時に、出店者や参加者が慰霊碑や樹木をないがしろにしているため、この通りの特殊性、歴史、樹木に係る説明を徹底してほしい。また、この通りが持っている魅力をもっとアピールしてほしい。そうすれば市民だけではなく、県外、海外にも魅力が伝わるはずである。 平和大通りは他に類を見ない通りで、それが周知されていないのは本当にもったいないと思う。市の計画しているにぎわいづくりは、平和大通りの特殊性を薄めて魅力をなくすように思う。計画について、話し合いの場を設けてほしい。	
90		平和大通りの利活用には反対である。平和大通りを現状のままにしてほしい。(9件)	
91		反対である。	
92		河川敷オープンカフェを平和大通りまで整備し、街全体が観光できるようにしてほしい。	いただいた御意見については、本市の水の都ひろしまづくりを推進する上での参考にさせていただきます。

No.	区分	御意見の要旨	本市の考え方
93	その他	とても良い計画である。平和大通りの活性化が期待できる。平和大通りの緑地帯が、市民の日常の憩いの場所として活用されることは大変喜ばしい。これに伴い地元生活者の生活道路の整備も並行して行ってほしい。特に、本川橋の拡張や本川西側の歩道、街灯、舗装の整備をお願いしたい。(2件)	本市としては、平和大通りの魅力や価値を高める整備や利活用に取り組んでいく中で、市民の日常の憩いの場としてもふさわしい整備を行っていきたいと考えています。 なお、基本計画は、平和大通りの車道、歩道を除いた平和大通りの利活用の計画であり、本川橋の拡張や歩道等の整備は、基本計画の範ちゅうを越えるものであるため、いただいた御意見については、今後の道路整備を進めていく上での参考にさせていただきます。
94		平和大通りは、一部の地区だけきれいに整備されている。他の地区は歩道がデコボコになっているところがあり、これを機会に整備してほしい。	
95		平和大通りは一部だけきれいに整備されており、他は道がデコボコしているので、広島を説明した表示板の整備と併せて整備してほしい。	
96		ドリミネーションは、色彩の統一感を出し、都会的で芸術的な美しさを意識したイルミネーションにしてはどうか。	いただいた御意見については、ドリミネーションの主催者であるひろしまライトアップ事業実行委員会にお伝えいたします。
97		ひろしまドリミネーションはあきた。車で見る人が多い。	
98		平和記念公園がある場所は戦前は広島一の繁華街であったが、今はそれが忘れられており、暗くて寂しい。平和大通りの一部でやっているイルミネーションを平和記念公園南側まで広げて実施してほしい。	
99		ひろしまドリミネーションを己斐プレイスまで伸ばして実施してほしい。	
100		ひろしまドリミネーションは、毎年同じような電球のオブジェだけでなく、外国の公園にあるような移動式メリーゴーランドや移動式ミニ観覧車などを設置したらおもしろいと思う。	
101		平和大通りの愛称があればいいと思う。	平和大通りの正式名称は、広島市道比治山庚午線です。 「平和大通り」自体が愛称であり、市民から名前を募集し、昭和26年に平和記念公園の両側にかかる「平和大橋」と「西平和大橋」と一緒に決めました。
102		平和大通り沿道に事務所を持っているが、フラワーフェスティバル等のイベント時に車を利用する際、大変迷惑している。 平和大通りに飲食店などができた場合、交通制限を受けることや違法駐車が増えることなどが懸念される。また、現在でも平和大通りはにぎわっていると思っており、これ以上のにぎわいの必要性が理解できない。このため、平和大通りの公園化に反対する。	ひろしま都心活性化プランでは、平和大通りについて、市民はもとより隣接する平和記念公園を訪れる観光客などの人の流れを呼び込むような都心を貫く東西の軸となり、にぎわいと交流を都心全体に広げていくことを目指すとしています。 これを踏まえて、平和大通りの整備及び利活用の取組を進めるに当たっては、市民等が平和大通りに求める「鎮魂」、「憩い」、「にぎわい」、「おもてなし」の4つの要素が、平和大通り全体で適切に配置され、全体で調和している状態が創出されることを目指します。また、慰霊碑や供木等の位置、商業施設、オフィス、住居等の集積状況など周辺環境との調和を念頭に行うよう考えています。
103		通りには樹木が繁茂、記念碑の点在といった状況で、様々な要素がコンフリクト(対立)している。それが原因となって都心の回遊性を低下させていないだろうか。シンボルロードのあり方として、通りの構成要素を整理することも考えてほしい。	多くの樹木や点在する慰霊碑など平和大通りを構成する要素については、通りの成り立ちを踏まえると全てが市民の大切な財産であることから、それらを大切にしつつ、通りの魅力や価値を高める整備及び利活用に取り組むこととしています。 その中で、市民や観光客等の人の流れを呼び込み、平和大通り内を巡り、また、そこから他の地域資源を巡ってもらえるような回遊の拠点にすることを目指します。 こうしたことを踏まえた具体的な整備内容やその場所については、ワークショップを開催し、そこでの意見を踏まえながら決定したいと考えています。
104		NHK前の広場にシースルーのスタジオをつくり、番組を企画してほしい。	いただいた御意見はNHK広島放送局に伝えるとともに、連携できる取組があれば今後の取組の参考にさせていただきます。
105		平和大通りの京橋川辺りに川の駅を作り、リバークルーズが出来るようにしてほしい。	いただいた御意見については、本市の水の都ひろしまづくりを推進する上での参考にさせていただきます。
106		駐輪場は全てコインパーキング式にしてほしい。	いただいた御意見については、本市の自転車施策を推進する上での参考にさせていただきます。

No.	区分	御意見の要旨	本市の考え方
107	その他	比治山は戦前、桜の名所で「御便殿」もあり、「泉亭」とともに広島観光名所であったが、今は寂れているので、平和大通りの活性化と併せて整備してもらいたい。	本市では平成29年3月に策定した、比治山公園「平和の丘」基本計画に基づき、「国際平和文化都市として復興した広島『今』を実感できる新たな拠点」として段階的に整備を進めています。いただいた御意見については、今後の整備を進めていく上での参考にさせていただきます。
108		放射線影響研究所のカマボコ型の建物は珍しいため、これを残して、観光資源にできないか検討してほしい。	
109		12月のサプライズ花火は良かったので、平和記念公園内でできないか検討してほしい。	サプライズ花火については、「広島みなと夢花火大会」の代替イベントとして、コロナ禍においても、市民の皆様に少しでも楽しんでいただけるよう実施したものです。 サプライズ花火は、人が密集することを避けるため打上場所が特定されないようにし、かつ、打上の際は、安全上、打上場所から一定の範囲内を立入禁止にする必要がありますが、平和記念公園は、多くの人が訪れることから、実施することは困難です。
110		平和記念公園内をもう少しライトアップしてください。	いただいた御意見については、平和記念公園を管理する上での参考にさせていただきます。
111		平和記念公園は暗くて怖いです。	
112		最近、市は広島駅周辺の整備ばかりに力を入れているような気がする。市はもっと紙屋町周辺や平和大通りにも力を入れるべきである。	いただいた御意見については、本市のまちづくりを推進する上での参考にさせていただきます。
113		バス停をおしゃれにし、デジタルサイネージを設置してほしい。	いただいた御意見については、バス停の設置者であるバス事業者にお伝えいたします。
114		100m道路を建設した目的は、被爆後の広島都市計画の基本コンセプトが火災による延焼防止にあった。当時に比べて今日では、多くの木造建築が鉄筋コンクリート造りとなったため、それらの不安は解消されているが、環境問題やSDGsが叫ばれる中で、緑地帯を削減することは国の方針に逆行するのではないか。また、大地震に備えて避難場所も必要となるが、100m道路はうってつけの避難場所となる。にぎわいづくりを名目とした市の財政改善計画に組めることは、市民の損失である。 一度、フランスパリのシャンゼリゼ通りに行って、その素晴らしい整備実態を参考にしてほしい。シャンゼリゼ通りは外国人観光客にとっても、心安らぐ空間でオアシスであることがわかるはずである。	平和大通りは都心の一等地にある広大な緑地空間であるとともに、そこに所在する被爆樹木や供木は平和への思いを共有するための貴重な財産です。 また、平和大通りは、災害時に緊急的に避難する指定緊急避難場所に指定されていないものの、災害時において、平和大通りの緑地帯に一時的に避難することが考えられます。 本市としては、基本計画に基づき、市民等が平和大通りに求める「鎮魂」、「憩い」、「にぎわい」、「おもてなし」の全ての要素を大切に調和を図り、通りの魅力や価値を高める整備や利活用に取り組むこととしています。その中で、被爆樹木や供木については、周辺の整地や舗装、せん定などの景観整備を行い適切に維持管理するとともに、供木等の位置、オフィスや住居等の周辺環境に配慮しつつ、ワークショップでの意見を踏まえながら収益施設の建築範囲を検討したいと考えています。 そのため、収益施設の建築範囲は限定的なものになると考えており、緑地帯や人が滞留するスペースの保持に大きな影響を及ぼすことのないよう配慮しつつ、整備や利活用に取り組んでまいります。 シャンゼリゼ通りに関する御意見については、今後の取組の参考にさせていただきます。